

京都府における障害者就労施設等からの物品等の調達の推進 を図るための令和5年度方針

第1 目 的

障害者が地域で自立した生活を送るためには、障害者雇用を推進するための仕組みを整えるとともに、障害者就労施設等が供給する物品及び役務（以下「物品等」という。）の需要の増進を図ることが重要である。

このため、府においては、国等による障害者就労施設等からの物品等の調達の推進等に関する法律（平成24年法律第50号）第9条の規定に基づき、障害者就労施設等からの物品等の調達の推進を図るための方針を定め、障害者就労施設等が供給する物品等の調達を一層推進する。

第2 適用範囲

本方針の適用範囲は、府の全ての機関が障害者就労施設等に発注する物品等の調達とする。

第3 障害者就労施設等の範囲

本方針の対象となる障害者就労施設等は、次のとおりとする。

- ア 障害者支援施設
- イ 地域活動支援センター
- ウ 障害福祉サービス事業を行う施設（生活介護、就労移行支援又は就労継続支援を行う事業に限る。）
- エ 物品等の調達をあっせんし、又は障害者就労施設等と府との間の物品等の調達を仲介する等の業務を行う共同受注窓口で、地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の2第1項第3号に規定する障害者支援施設等に準ずる者の認定を受けている者
- オ 障害者の地域における作業活動の場として障害者基本法（昭和45年法律第84号）第18条第3項の規定により必要な費用の助成を受けている施設（小規模作業所）
- カ 国等による障害者就労施設等からの物品等の調達の推進等に関する法律施行令（平成25年政令第22号。以下「障害者優先調達推進法施行令」という。）第1条第1号に規定する事業所（特例子会社）
- キ 障害者優先調達推進法施行令第1条第2号に規定する事業所（重度障害者多数雇用事業所）

ク 自宅等において物品の調達、役務の提供等の業務を自ら行う障害者（在宅就業障害者）

ケ 在宅就業障害者に対する援助の業務等を行う団体（在宅就業支援団体）

第4 令和5年度調達目標

令和5年度の調達目標を次のとおり定める。

（単位：千円）

	令和5年度 調達目標額	令和4年度 実績額 （概算）	【参 考】 令和4年度 調達目標額
物 品	25,000	23,062	25,000
役 務	46,000	45,581	45,000
計	71,000	68,643	70,000

第5 調達を推進する物品及び役務

調達を推進する物品等は次のとおりとするが、記載のない物品等の調達も検討し、できる限り幅広い分野から調達するよう努める。

(1) 物 品

- ・ 食品類（弁当、菓子、パン等）
- ・ 日用品・雑貨類（被服、工芸品、手芸品等）
- ・ 農作物類（野菜、花、米、茶等）
- ・ その他障害者就労施設等が提供可能な物品

(2) 役 務

- ・ 印刷物類（報告書、広報誌、リーフレット、ポスター、ちらし、名刺、点字出版物等）
- ・ 軽作業（袋詰め、封入、包装、発送等）
- ・ 清掃・除草
- ・ クリーニング
- ・ データ入力
- ・ ホームページ管理
- ・ その他障害者就労施設等が提供可能な役務

第6 物品等の調達の推進方法

障害者就労施設等からの物品等の調達を推進するため、次の取組を行う。

(1) 調達推進に必要な情報の提供

健康福祉部障害者支援課は、障害者就労施設等が提供可能な物品等の内容等、その調達推進のために必要な情報を府のすべての機関に提供する。

(2) 障害者就労施設等の供給能力の向上

障害者就労施設等が供給する物品等について、質の向上及び供給の円滑化のために行う取組の支援に努める。

(3) 障害者就労施設等の受注機会増大のための措置

障害者就労施設等から物品等を調達しようとする機関は、適正な価格、機能及び品質を確保しつつ、次の観点についても配慮することとする。

ア 物品等の調達の必要性が新たに生じた場合には、障害者就労施設等からの調達の可能性について検討するよう努める。

イ 物品等の調達に際しては、障害者就労施設等からの調達が可能となるよう、履行期間及び発注量を考慮するよう努めるとともに、調達する物品等の性能、規格等必要な事項について、障害者就労施設等に対する十分な説明に努める。

(4) 市町村との連携

障害者就労施設等が提供可能な物品等の情報の共有等、市町村との連携を図り優先調達を推進する。

第7 調達方針及び調達実績の公表

(1) 本方針を策定又は見直したときは、府ホームページ等により公表する。

(2) 調達実績については、年度終了後、物品等の調達の実績を取りまとめ、その概要を府ホームページ等により公表する。

第8 その他

(1) 障害者就労施設等からの物品等の調達推進に資するよう、必要に応じて、本方針の見直しを行うものとする。

(2) 当該調達方針の担当窓口は、健康福祉部障害者支援課とする。